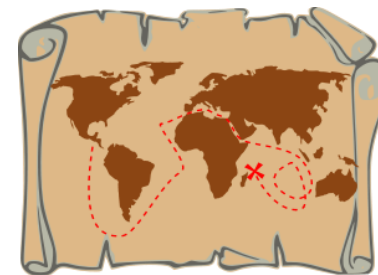


英文読解講座 (7)



⑦ Topic Sentence の発見

LV	Check 項目	語彙	入試英語読解のレベル	必要な訓練
0	7~8 語であれば英文の意味を日本語に置き換えて理解出来る。	~1200	日常会話文読解レベル	基礎文法の Pattern Practice 英和辞典の活用
1	2 行~3 行の長い英文であっても、1 文ずつであれば、構造を正しく分析・理解し英文の意味を日本語に置き換えて理解出来る。	和訳読解レベル (⇒ スラッシュ・リーディング)		体系的英文法の知識習得と運用訓練 S V の識別の基礎構文理解訓練 文脈にあった辞書の語義の選択 (入試和訳では日本語力の向上も)
		~3500	センター~MARCH (人文)	
		5000~	難関私大・国立	
2	各段落の Topic Sentence を意識しながら読み、大意が把握出来る。	パラグラフ・リーディング レベル		Slash Reading・Phrase Reading ディスコース・マーカーの学習 英文の6つの論理の学習 パラグラフ・リーディングの訓練 内容真偽問題による Scanning 訓練 指示語・内容語に関する訓練 頻出 Topic の背景知識学習
		~3500	センター~MARCH (人文)	
		5000~	難関私大・国立	
3	論理的思考力を必要とする英文の読解が出来る。	ロジカル・リーディング レベル		段落整序問題による論理訓練 要約問題による論理訓練 志望学部の入門レベルの背景知識学習
		5000~	難関私大・国立	
4	書かれている文章について自分の視点から批評的な読みが出来る。	クリティカル・リーディング レベル		自由英作文による自己表現訓練 背景知識や関連情報処理能力向上 ディベートによる論理矛盾発見訓練

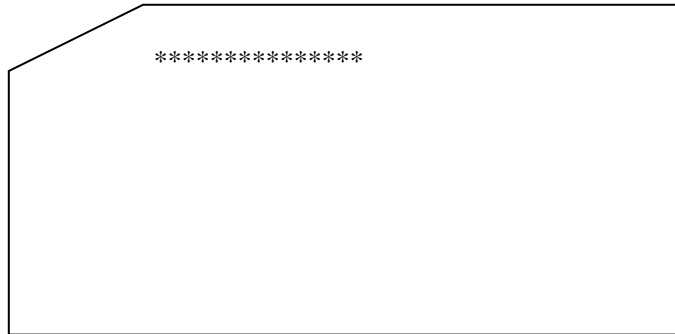
<Topic Sentence の発見と英語の論理>

1. パラグラフ【Paragraph】（段落）の構成要素

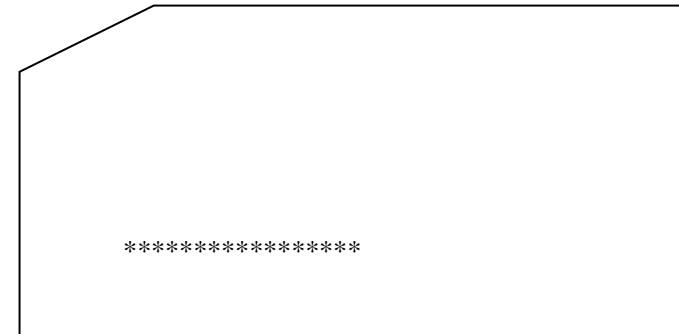
① Topic Sentence	主題文	各段落の Main Idea / Topic（主題）、論旨を述べた文
② Supporting Sentence	支持文	Topic Sentence の内容を支える文。 Topic Sentence に対して以下のような意味を持つ。 1) 理由 2) 条件 3) 具体例 4) 言い換え説明 5) 反証
③ Summary Sentence	結びの文	Topic Sentence を言い換えたもの。ないパラグラフもある。

2. Topic Sentence の位置：通常 4 種類

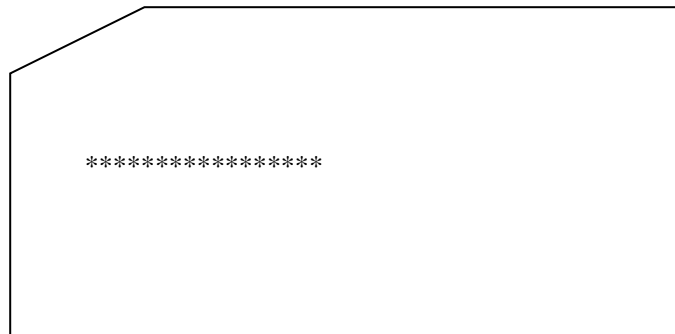
(A) Topic Sentence が先頭



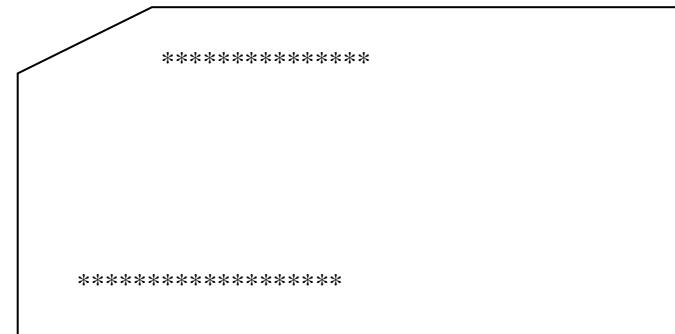
(B) Topic Sentence が最後



(C) Topic Sentence が中間



(D) Topic Sentence が最初と最後



Topic Sentence が出現するパターンとして多いのは (A) > (B) > (C), (D) の順であるが、位置によって Topic Sentence が決定する訳ではない点に注意。

3. Topic Sentence の発見と「最大の手がかり」= 英語の論理

文と文の論理展開基本6パターン		※記号は便宜的なもの	
論理パターン		記号	重要度
①	A ユエニ B	【A∴B】	A<B
②	A シカシ B	【A←→B】	A<B
③	A ソシテ B	【A,B】 (列挙)	A=B
④	A タトエバ B	【A {B}】	A>B
⑤	A スナワチ B	【A≡B】	A=抽象 B=具体なら A>B
⑥	A ノバアイ B	【《A》→B】	A<B

Topic Sentence を発見する最大の手がかりが、「英語の論理展開」である。論理の展開は無数にあるように見えるが、実は上記の6つのパターンに大別される。論理パターンは「ディスコース・マーカ―」によって明示されることもあるが、ない場合でも論理が存在する点に注意。はっきりしない場合は単純に⇒で流してよい。

<例題①> 次の Paragraph における Topic Sentence を指摘しなさい。(法政大)

① How people smile at each other can provide useful clues to their status in the relationship. ② Darwin noticed that smiling and laughter often occur together. ③ He concluded therefore that they have the same origins, and that smiling is just a weak form of laughter. ④ This idea seems valid, especially when you consider how easy it is to shift between smiling and laughter, and how close happiness is to amusement. ⑤ In many languages the words for smiling and laughter even have the same root.

<例題②> 次の Paragraph における Topic Sentence を指摘しなさい。(旧 Treasure 5 Lesson 3)

① A professor I knew once drew a line on a blackboard. ② At the left end he wrote "individualism," and at the right end he wrote "collectivism." ③ He then described how cultures around the world lean to one side or the other. ④ Of modern societies, he pointed out, the Americans were closest to individualism. ⑤ And the Japanese, not surprisingly, were the closest to collectivism. ⑥ In other words, our two cultures appear most separated in very basic ways — how our lives as social beings are organized.

<原稿>

<例題①> 次の Paragraph における Topic Sentence を指摘しなさい。(2007 高3 Transfer E- Unit1-法政大)

How people smile at each other can provide useful clues to their status in the relationship. Darwin noticed that smiling and laughter often occur together. He concluded therefore that they have the same origins, and that smiling is just a weak form of laughter. This idea seems valid, especially when you consider how easy it is to shift between smiling and laughter, and how close happiness is to amusement. In many languages the words for smiling and laughter even have the same root.

【解法】 「とりあえず、ざっと目を通して、どれが Topic Sentence なのか感覚で選ぶ」というやり方では駄目です。そういう感性に頼った読み方をしているうちは、いつまでたっても Topic Sentence の発見や Paragraph Reading の本当の意味が分からないまま、なんとなく段落から英文を「つまみ食い」する読み方しか出来ません。上記の英文を以下のように整理してみます。

- (A) How people smile at each other can provide useful clues to their status in the relationship.
- (B) Darwin noticed that smiling and laughter often occur together.
- (C) He concluded **therefore** that they have the same origins, and that smiling is just a weak form of laughter.
- (D) This idea seems valid, **especially when** you consider how easy it is to shift between smiling and laughter, and how close happiness is to amusement.
- (E) In many languages the words for smiling and laughter even have the same root.

「1文1文の意味が取れない！」という人は「和訳読解レベル(LV.1)」に戻るしかありません。ここではとりあえず(A)~(E)の英文の意味は理解していることを前提とします。(A)~(E)の中で、所謂 Discourse Marker と呼ばれるものは、□で囲んだ **therefore** と **especially when** だけです。さて、Discourse Marker を学習してきた人は **therefore** が結論を表わす Discourse Marker であることを知っていますね？「分かった！では (C) が Topic Sentence だ！」

おいおい、ちょっと待って下さい。本当にそれでよいのでしょうか？

確かに、**therefore** は「結論を表わす Discourse Marker」であり、Discourse Marker に注意して英文を読むこと自体は悪い方法ではありません。ただ、Discourse Marker だけが英語の論理を決めているわけではありません。Discourse Marker がなくても、論理展開は存在しているのです。上の(A)~(E)の間に、論理6パターンをそれぞれ当てはめていくと…

(A) たとえば { (B) ゆえに (C) **when**~のばあい (特に) D なせなら E }

となります。よって論理展開に注意して読めば、各文の重要度は

(A) たとえば{X} $\Rightarrow A > X$ (B) ゆえに (C) $\Rightarrow B < C$
(D)の場合 (C)=○ $\Rightarrow C > D$ (C)~なぜなら (E) $\Rightarrow C \sim > E$

となりますから、 $A > C > E, B, D$ となり、Topic Sentence は論理的に(A)でしかありえません。

英語は非常に論理的な言語ですが、いつも論理パターンが明確という訳ではありません。しかし、論理を考えながら読まなければ、文の重要度を測る手がかりなど他にありませんからね。もう少し砕いて読むと以下ようになります。

- (A) 人の微笑み方見ると人間関係が分かることあるよね。
- (B) そう言えば、あの進化論のダウンは微笑みと笑いが同時に起こることに注目してたみたいね。
- (C) 彼はそれで smile と laughter が同じで laughter > smile って捉えたみたいね。
- (D) まあ smile してて laugh とか laugh してて smile ってよくあるから、ダウンの考えって妥当なのかな。
- (E) ダウンの考えが妥当な証拠としては語源的にも smile と laugh が同じって言語多いみたいだし。

<例題②> 次の Paragraph における Topic Sentence を指摘しなさい。(2007 高2 Treasure 5 Lesson 3)

A professor I knew once drew a line on a blackboard. At the left end he wrote "individualism," and at the right end he wrote "collectivism." He then described how cultures around the world lean to one side or the other. Of modern societies, he pointed out, the Americans were closest to individualism. And the Japanese, not surprisingly, were the closest to collectivism. In other words, our two cultures appear most separated in very basic ways — how our lives as social beings are organized.

【解法】 さて次は Treasure 5 から Lesson 3 の最初のパラグラフを考えてみます。ここでもパラグラフを幾つかのパーツに分けることから始めてみましょう。(パーツの単位は文とは限りません)

- (A) A professor I knew once drew a line on a blackboard.
- (B) At the left end he wrote "individualism," and at the right end he wrote "collectivism."
- (C) He **then** described how cultures around the world lean to one side or the other.
- (D) Of modern societies, he pointed out, the Americans were closest to individualism.
- (E) And the Japanese, not surprisingly, were the closest to collectivism.
- (F) **In other words**, our two cultures appear most separated in very basic ways
- (G) — how our lives as social beings are organized.

さて、このパラグラフにおいても「目に見える論理の手がかり」である Discourse Marker は then と In other words の2つしかありません。Discourse Marker だけを頼りに英文を読んでしまうと、こういう場合に Topic Sentence を発見することが出来ないわけですね。

ところで、このパラグラフを読んで、「おや?」と思った人も多いでしょう。いきなり最初の文が「昔、私の知っているある教授が黒板に1本の線を引いた」という話で始まっています。唐突というか、「何の話だ?」と思うのも無理はありませんね。では何故唐突に感じてしまうのか?それは、話がいきなり「具体的」すぎる話で始ってるからです。次のような日常会話を想定してみると分かりやすいかもしれません。いきなり朝学校で A さんが次のように言いました。

A 子:「うちのお母さん私が風呂入ってる時に人のメール勝手に見てさあ」

どうですか?唐突でしょ?普通だったら、朝会ったらまず挨拶をして…

A 子:「おはよう」⇒ B 子:「おはよう」⇒ A 子:「親ってなんで子供の気持ち考えないかなあ」(抽象)

⇒B 子:「何があったの?」⇒ A 子:「実はさあ、昨日うちのお母さんが〇〇」(具体)

こちらの方がまあ自然ですよ。Topic Sentence を考える上で重要なのは、Topic Sentence は「具体」ではなく「抽象」である、ということです。【A たとえば B】にしても【A すなわち B】にしても、A>B ならば A=抽象で B=具体である、という点に注目して下さい。Topic Sentence が段落の最初にあることが多いのも、具体から話を進めるのがどうしても唐突になってしまうことが大きな要因です。(例外はありますが)

さて、話を戻しますが、「具体」と「抽象」に注目してみると上の英文は

(A)(B)=具体⇒(C)(D)(E)=具体～抽象⇒(F)(G)=抽象

という構造を持ちます。「先生が黒板に描いた線」「先生が線の両端に書いた【個人主義】と【集団主義】」はいずれも目に見える「具体」であり、その「具体」によって先生が「言いたかったこと」は(C)(D)(E)であり、それを筆者が(F)(G)と言い換えているわけです。さて、大きく分けて、 $AB < CDEFG$ は分かったとして、Topic Sentence はどれでしょうか？ (C)では全世界の文化が【個人主義】と【集団主義】のどちらかに偏るとし、(D)(E)では範囲を狭めて「日本とアメリカの文化」の具体例をあげており、その後で筆者が(F)(G)と言い換えている。

{(C) たとえば (D)そして(E) }すなわち(F)(G) ※ (G)は in very basic ways を具体化したもの

となりますから、{ }内は(C)で、この後の筆者の話の出発点の(F)がそれを受けた Topic Sentence となります。